



台東区教育大綱

台東区は、上野、浅草、谷中、隅田川など歴史と伝統に恵まれた地域を擁し、情緒ある個性豊かな文化を育んできたまちです。日々のにぎわいある暮らしの中で、子供からお年寄りまで様々な世代が助け合い、心意気と人情で支え合いながら希望と活力にあふれた暮らしを続けています。

今、本区では、こうしたかけがえのない財産を活かし、「教育はひとつづくり」の観点から、台東区のまち全体を人が成長するための環境「学びのキャンパス」としてとらえ、学校、家庭、地域の信頼と支え合いの中で、将来の台東区を担うひとつづくりを推進しています。

今後、この施策をさらに充実させ、地域に支えられたひとつづくりが、世界に輝く台東区を築く人材を育むとともに、平和で、多様な人々が活躍できる魅力あるまちづくりへと結びつくよう、次の項目に取り組みます。

●温故創新とところざし

台東区の歴史、文化を尊重し、伝統・技能を継承、発展させるとともに、ところざしを立て、新たな地域や社会を創造するひとつづくりを進めます。

●自己実現と支え合い

区民が生涯を通じて自己実現に努め、自他を尊重し共に支え合い、変化が大きい社会を生き抜く力を培えるよう支援します。

●教育に対する信頼と尊敬

教育に携わる教師・保育士の資質向上をたゆまず図り、子供たちや保護者、地域から、より信頼され尊敬される人材を育成します。

●心の豊かさや学びの環境づくり

区民一人ひとりが心豊かに生涯を送れるよう、いつでも、どこでも、誰もが、ライフステージに応じて学べる環境を整備します。

●絆と地域力

家庭や地域社会の絆を大切にし、活力あるコミュニティの形成に努め、地域力を高めます。

令和元年5月8日

台東区長 服部 征夫

はじめに

子供の基本的な生活習慣の欠如や小1プロブレム、学校不適応等の課題解決に向けて、就学前教育・保育施設や小学校には、子供の発達や学びの連続性を踏まえ、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図り、子供の健やかな育ちを保証することが求められています。

また、平成29年3月に告示された「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」においては「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が示され、それに基づいた幼児教育の実践とともに、小学校教育との円滑な接続が求められています。また、同じく平成29年3月に告示された「小学校学習指導要領」においても、幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえた教育活動を実施することが必要とされています。

これまで以上に幼児教育と小学校教育の円滑な接続の重要性が示され、その実現への期待が高まっていますが、遊びや生活を通して総合的に学んでいく幼児期の全体的な計画（教育課程を含む）と、各教科等の学習内容を系統的に学ぶ児童期の教育課程は内容や進め方が大きく異なり、その接続は容易ではありません。

幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図るために、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を踏まえた指導を工夫していくことが求められています。子供たちの育ちを確かなものにしていくためには、教員・保育士は幼児が小学校でどのように育っていくのか、小学校の教員は児童が園でどのように学んできたのかを理解し、それぞれの教育をさらに充実させていくことが大切です。そして幼稚園、保育所、こども園、小学校がそれぞれにおいてカリキュラムを作成していくことが大切です。

台東区では、幼児教育と小学校教育との円滑な接続を目指し、平成23年1月に「幼児教育共通カリキュラム『ちいさな芽』」を策定いたしました。各学校園においては、カリキュラムの柱である「生活」「人とのかかわり」「学び」の視点に基づき3歳、4歳、5歳、1学年の指導計画について検討を重ね、「ちいさな芽」に基づく教育・保育を推進してまいりました。

教育支援館においては「ちいさな芽実践推進訪問」を実施し、遊びや学習場面における子供の様子や担任の関わり方を観察し、研修支援専門員より子供の発達に沿った適切な指導や援助や、幼児期に経験した事柄や身に付けた力を生かした指導の在り方について担任に助言するとともに「ちいさな芽」の周知と活用の推進に取り組んでまいりました。

このたび、接続期の指導の更なる充実に向け、平成29年度より3年間かけて「幼児教育共通カリキュラム開発委員会」が中心となり作成した、接続期カリキュラムおよび実践事例を『接続期カリキュラム事例集』として1冊にまとめ発行いたしました。

本書を円滑な接続に向けてのアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムを作成する際の指針としていただき、就学前教育・保育施設と小学校が連携を深めていくための一助となれば幸いです。すでに各学校園で活用していただいている「ちいさな芽 基礎編・実践編」「ちいさな芽 事例集」に加え、本書を活用した教育・保育を推進していただき、幼児教育と小学校教育の滑らかな接続がますます図られますことを心から願っております。

令和2年3月

台東区教育委員会

目次（接続期カリキュラム事例集）

I 幼児教育共通カリキュラムについて

- | | | | |
|---|-------------------|----|---|
| 1 | 幼児教育共通カリキュラム策定の経緯 | …… | 1 |
| 2 | 幼児教育共通カリキュラムの構造図 | …… | 2 |

II 幼児教育と小学校教育の円滑な接続をめざして

- | | | | |
|---|--------------------|----|---|
| 1 | 接続期カリキュラムが重要視される理由 | …… | 3 |
| 2 | 接続期カリキュラムにおいて重視する点 | …… | 4 |

III 接続期カリキュラム

幼児教育から小学校教育へ …… 7

1 アプローチカリキュラム …… 8

アプローチカリキュラムを創ろう …… 10

5歳児進級から1年生入学へ(発達の特徴と育ちの連続性) …… 13

I期(4～5月) …… 15

II期(6～9月) …… 17

III期(10～12月) …… 19

IV期(1～3月) …… 21

幼稚園・保育園・こども園・小学校の連携 …… 23

保護者・地域の連携 …… 24

2 アプローチカリキュラム実践事例 …… 26

事例1「ウサギの世話をしよう」 4月 …… 29

事例2「プールで宝をたくさん見つけよう」 7月 …… 33

事例3「誕生会の出し物を考えよう」 9月 …… 37

事例4「運動会で応援団をやりたい 5年生に教えてもらおう」 10月 …… 41

事例5「忍者の修行だ うちのチームの仕掛けに挑戦して」 11月 …… 45

事例6「みんなでルールのあるゲームを楽しもう」 11月 …… 49

事例7「すごろくを作ろう」 12月 …… 53

事例8「体験入学 小学校ってどんなところかな」 2月 …… 57

事例9「楽しかった園生活 先生 友達 ありがとう」 3月 …… 59

3	スタートカリキュラム	62
	スタートカリキュラムを創ろう	64
	4月第1週	71
	4月第2週	72
	4月第3週	73
	4月第4週	74
	5月第5週 運動会実施版	75
	5月第6週 運動会実施版	76
	5月第7週 運動会実施版	77
	5月第8週 運動会実施版	78
	5月第5週 運動会未実施版	79
	5月第6週 運動会未実施版	80
	5月第7週 運動会未実施版	81
	5月第8週 運動会未実施版	82
	6月第9～10週	83
	6月第11～12週	84
	7月第13～15週	85
	9月第16～18週	86

4	スタートカリキュラム実践事例	88
	スタートカリキュラムを実践しよう	91
	事例1 「はじめまして がっこう はじめまして ともだち」	4月第2週 入学 6日 99
	※登校時から1校時に「なかよしタイム」のある事例	
	事例2 「はじめまして がっこう はじめまして ともだち」	4月第1週 入学 5日 101
	事例3 「がっこう だいすき ともだちだいすき」	4月第2週 入学 9日 103
	事例4 「がっこう だいすき ともだちだいすき べんきょうだいすき」	5月第8週 入学35日 105
	事例5 「がっこう だいすき ともだちだいすき べんきょうだいすき」	5月第8週 入学37日 107
	(運動会未実施版のみ)	
	事例6 「げんき いっぱい うんどう だいすき」	6月第12週 入学54日 109
	事例7 「たのしみだね なつやすみ」	7月第15週 入学65日 113
	事例8 「せいかつリズムをとりもどそう」	9月第1・2週 117

IV	資料	119
----	----	-----

	指導事例作成協力者	125
--	-----------	-----